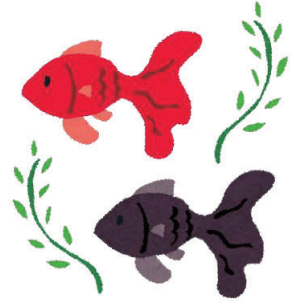


第173号

連携室だより



公益財団法人 北海道医療団 **帯広第一病院**

発行 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療連携室

〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3

TEL 0155-25-3121(病院代表)

帯広第一病院理念・基本方針


【理念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

【基本方針】


- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。 | 4 研修や教育を積極的に行います。 |
| 2 地域医療機関との連携を推進します。 | 5 働きがいのある職場を作ります。 |
| 3 救急医療の充実に努めます。 | |







当院の新型コロナウイルス対策について

感染管理認定看護師 岡 一大



当院では新型コロナウイルス感染症対策として、皆様に安心して当院をご利用いただけるよう、ご来院されたすべての方にマスクの着用、手指消毒をお願いしております。また、発熱や咳などの呼吸器症状の有無についてもお声掛けさせていただいております。





症状のある方は他の患者様と交差しないよう離れたスペースで対応させていただいているほか、入院患者様への面会についても、病院からお呼びした方など特別な理由がある場合以外は全面的にお断りしております。

現在、十勝管内の新型コロナウイルス感染症の発生数は累積で3例に留まっていますが、今後の発生状況の予測は困難であり、皆様に当院を安心してご利用いただくためこの措置を継続しております。ご来院の方々にはご不便をおかけ致しますが、ご理解・ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

また、新型コロナウイルス検査の保険収載、抗原検査キットの承認が報道されておりますが、当院では引き続き医師の指示があっても検査センターへの依頼や抗原検査を実施できる状況にはありません。状況が変わり次第改めて病院ホームページ等でお知らせいたします。

今号の内容

- ・当院の新型コロナウイルス対策について 感染管理認定看護師 岡 一大 (1)
- ・2019年度健康管理センター実績報告 健康管理センター 主任保健師 柴田 加奈江 (2) (3)
- ・膵癌早期診断プロジェクト実績報告 消化器内科 部長 眞坂 智寛 (4)

2019年度健康管理センター実績報告



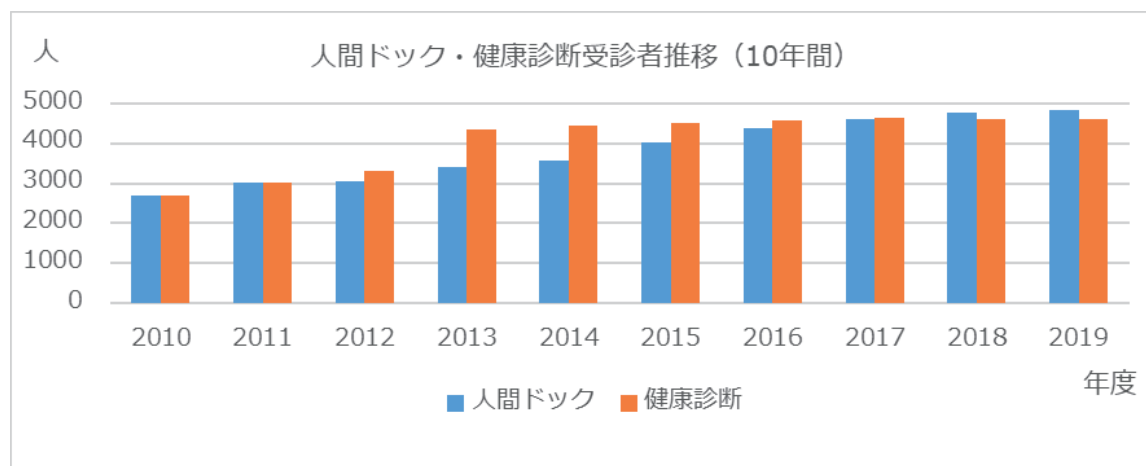
健康管理センター 主任保健師 柴田 加奈江

地域の皆様には日頃より大変お世話になっております。2019年度、ドック・健康診断の実績報告をさせていただきます。今年度は皆様もご心配されております新型コロナウイルスの感染が拡大しました。この数か月間で各企業の自粛や学校の臨時休校など様々なところに影響が及びました。我々、予防分野におきましても同様にドック・健康診断を一時中止する事態になりましたが、現在は感染対策の徹底と新たな業務スタイルを取り入れ、予防活動を再開しております。

今後は少しでも早く収束出来ることを願い、2020年度はもっと笑顔で地域の皆様が安心・安全に検査が受けられますようスタッフ一同頑張っていきたいと思っております。

人間ドック・健康診断受診者推移

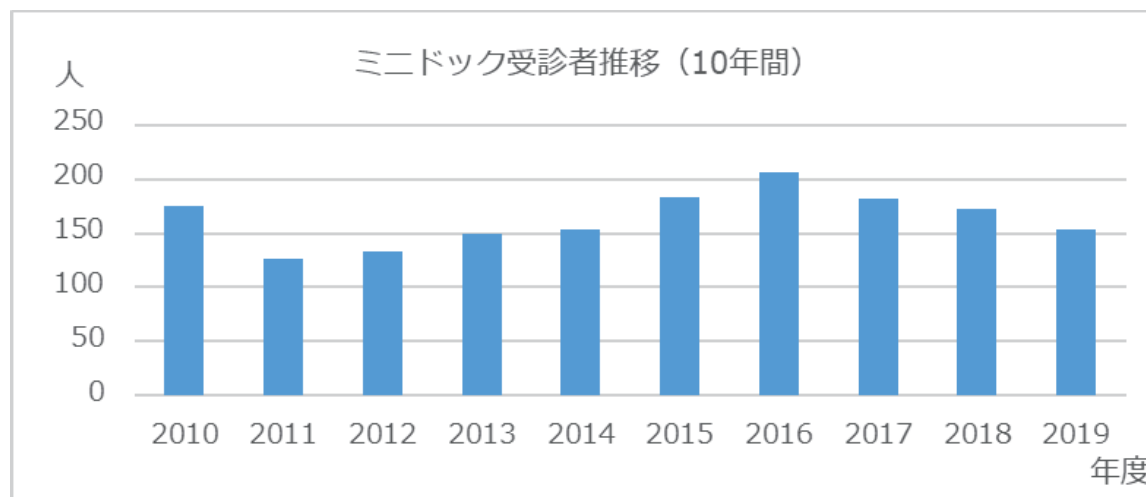
人間ドック4829名、健康診断4601名が受診されました。当院は大変ありがたいことにリピーターの方がとても多いです。また最近では協会健保の新規受診者のご利用も増えてきました。



ミニドック（期間限定）受診者推移

毎年恒例となっておりますミニドックは、153名が受診されました。期間限定（2ヶ月間）ではありますが、日頃健診を受ける機会が少ない若年層や専業主婦の方、定年退職後の方などを中心にご利用いただいております。

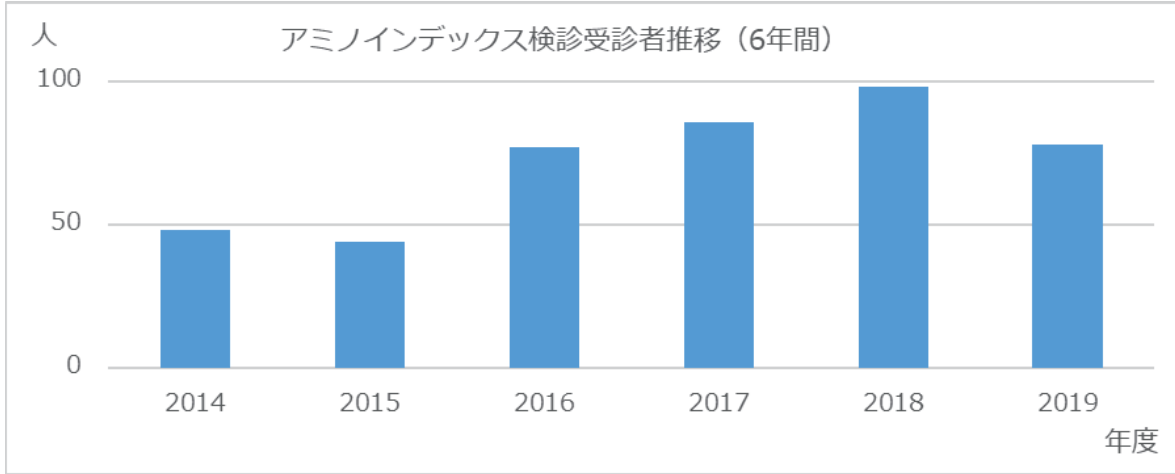
今回は新型コロナウイルスの影響により、キャンセルしなければならない方が多数おりました。非常に残念ですが、早く落ち着いて来年また受診していただければと思います。



アミノインデックス検診受診者推移

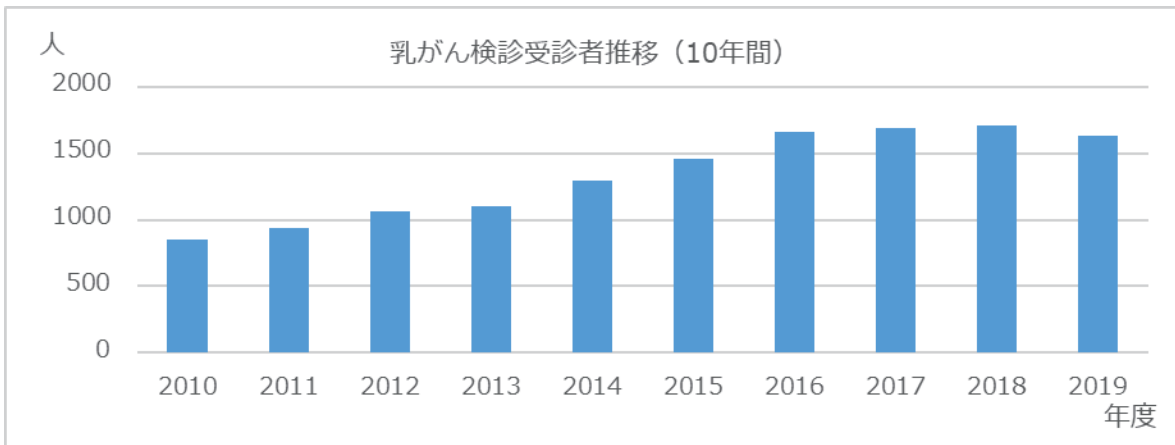
2014年度からスタートした検診です。（採血でガンや疾患のリスクを階層化する検査です。）2018年度は78名が受診されました。ドックや健康診断のオプションとして受けることもできます。

2020年4月からはがんの発症リスク以外に新たに脳・心疾患・糖尿病の発症リスクも分かるようになりました。



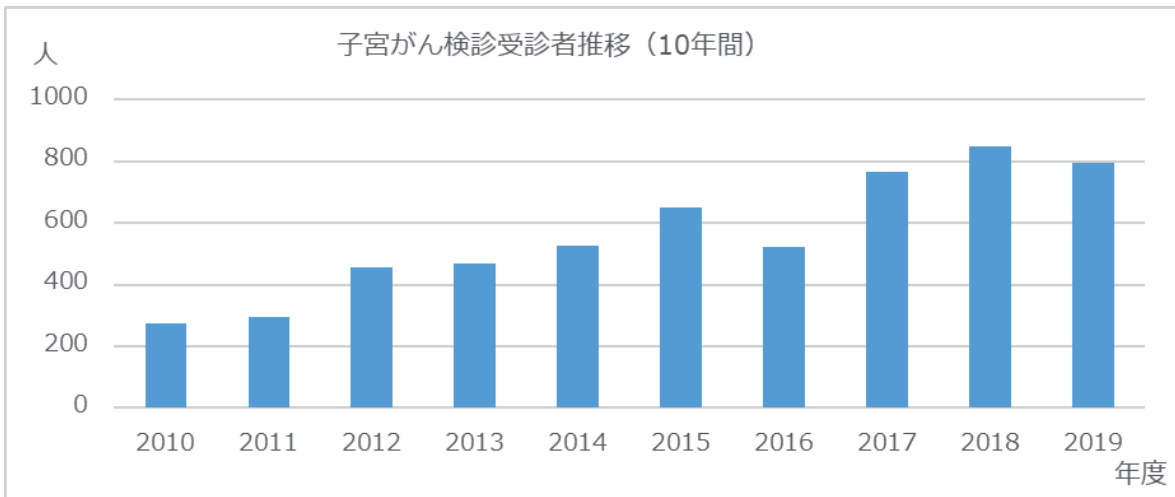
乳がん検診受診者推移

1629名が受診されました。当院では毎年10月のピンクリボン月間に合わせてキャンペーンに取り組んでいます。



子宮がん検診受診者推移

提供医療機関様にて実施しております。今年度は794名が受診されました。



膵癌早期診断プロジェクト実績報告



消化器内科 部長 眞坂 智寛

令和元年度の膵がん早期診断プロジェクト実績を御報告させていただきます。

「膵癌早期発見チェックリスト」を含めてご紹介いただいた方が、2018年度の45例から2019年度は82例と大幅に増えました。その中で膵癌と診断される症例も9例→30例とかなり増えましたが、長期予後を期待して外科手術を行えた症例は昨年度と同様の2例で、まだ十分な結果は得られておりません。長期予後（5年生存率80%）が望める腫瘍径の指標は1cm以下と言われており、進行度としてはStage0～IAの範疇に入ります。また1cm以上の腫瘍径でも、周囲主要血管への浸潤がなければ術前化学療法を行うことで予後の改善が見込めることも示されており、遠隔転移が出現してくる前に診断をつけることが重要です。

今後も先生方の御協力のもと、膵癌になりやすいハイリスクの方々に対して定期的な画像検査を続け、膵癌の早期診断および予後の向上につなげていけるように取り組んでいきたいと思っております。

平成31年4月～令和2年3月までの実績

	症例数	膵癌（うち手術症例）	偶発的発見癌	偶発的発見癌		臨床病期	
紹介患者	82	26 (1)	3	大腸癌	2	IA	1
経過観察中患者	84	4 (1)	1	膵神経内分泌腫瘍	1	IB	1
総計	166	30 (2)	4	肝細胞癌	1	IIA	9
						IIB	0
						III	4
						IV	15



地域医療連携室より

おうち時間が多いので、料理をすることが増えました。何を作ろうかとスマホアプリで調べていると、1週間分の献立を考えてくれたり、最寄りのスーパーを登録するとチラシと特売商品のレシピが出てきたりと便利で活用させていただきます。

暑い日も続き、お酒のおつまみにたこ焼き器でアヒージョをしました。具材を入れると油がパンパンはねて黒ひげ危機一髪くらいのドキドキ感で一気に酔いも醒めてしまいました。

そろそろお店の美味しいごはんを食べたいので、テイクアウトなどで経済活動に貢献したいです。

(井本 未来)

【地域医療連携室】

TEL 0120-558-091(連携室直通)

FAX 0155-27-0248(連携室専用)

連携室専用e-mail renkei@zhi.or.jp

【担当スタッフ】

林 栄一 (MSW課長) 大熊 三紀子 (事務職)

山形 弘一 (MSW係長) 井本 未来 (事務職)

川元 希 (MSW主任) 後藤 知子 (事務職)

数田 紗奈 (MSW) 昌本 美優 (事務職)

宮岸 さとみ (MSW)

沼田 直江 (MSW)